

こ ん に ち は、 小 川 あ き ら で す。

きらきら通信

冬号

2020.12月

議会報告

決算特別委員会

文教警察常任委員会・県内調査

大変なときこそ、女性の力を結集！

会派視察

豆知識

- 新型コロナウイルスとの同時流行に備え、今年は特にインフルエンザ対策にワクチンを接種しましょう。
- インターネット上の誹謗中傷相談窓口を開設しました！

群馬県議会議員 リベラル群馬

交流 2020年冬

澄んだ空気に赤城山の稜線がくっきりと浮かび上がり、あっという間に冬の足音が聞こえてきそうです。

GO TOトラベルやGO TOイートといった国のキャンペーンも人気を博し、新しい生活様式の中で、ソーシャルディスタンスを保ちながら、群馬の大自然や美味しい恵みを楽しむ工夫があちこちで見受けられるようになりました。一方で、これから寒い季節に入ります。引き続き一人ひとりができる感染症対策に努めるとともに、今年度は特にインフルエンザ対策についても徹底をお願いします。

さて、政治の世界に目を向けると、国内においては菅総理が誕生し、デジタル庁の創設や携帯料金の値下げ、不妊治療の保険適用など、新たな改革がスタートしました。コロナ禍を契機に経済状況の悪化や貧困問題の深刻化が懸念されており、政治の重要性も増えています。まずは身の周りの「マイ社会問題」から、地域の課題、世の中の課題に関心を持ち、この難局をみんなの力で乗り越えていきましょう。

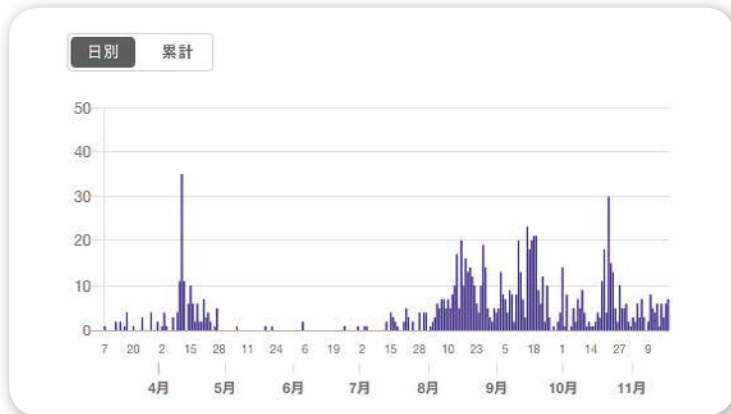
議会報告

令和2年第3回定例会が、9月18日(金)から12月15日(火)までの89日間の会期で開催されています。前期定例会では、新型コロナウイルス感染症対策に関する512億8707万円の追加補正予算及び、高齢者のインフルエンザワクチンの接種を無料化するための緊急対策予算7億8555万円の補正予算を可決したほか、県立学校のICT整備に関する契約議案など18の議案を可決しました。

新型コロナウイルスの発生状況

(1日ごとの感染者の推移11/14現在)

冬が近づき、全国的にも感染者が増加傾向となっています。引き続き一人ひとりにできる感染予防対策をお願いします！



県議会豚熱(CSF)対策本部を設置

高崎市内の養豚場で9月26日に豚熱(CSF)感染が確認され、全5887頭が殺処分されたことを受け、県議会においても豚熱対策本部を設置しました。ワクチン接種の空白期間が生じると感染リスクが高まるため、適切な時期にワクチン接種が行えるよう家畜防疫員だけでなく民間獣医師による接種を可能とする制度の見直しや必要な経費を国が支援するよう求めています。なお、豚熱は、豚やイノシシの病気で、人に感染することはありません。市販されている群馬の豚肉を安心して消費してください。



新型コロナウイルスとの同時流行に備え、
今年は特にインフルエンザ対策にワクチンを接種しましょう。



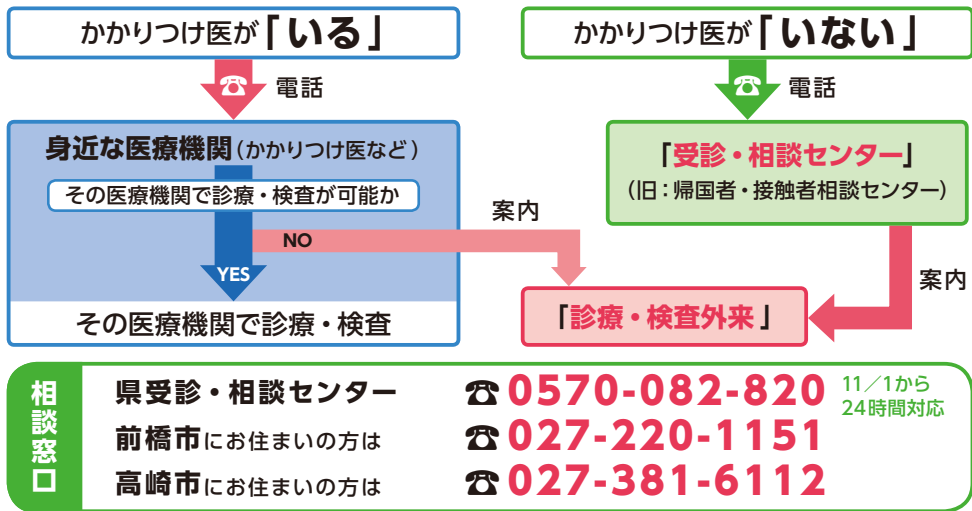
- ◎ 発症すると新型コロナウイルスとの区別がつかない恐れがあります！
- ◎ 高齢者等のハイリスク者はインフルエンザにも新型コロナウイルスにも注意が必要です！
- 高齢者は無料で定期予防接種を受けることができます。詳しくは住所地の市役所、町村役場にお問い合わせください。

自己負担を無償化

65歳以上の人 または 「60歳から64歳で重い持病のある人」のうち、市町村が定期接種を認めた人

- 発熱症状が出たら、医療機関を受診する前に、必ず「かかりつけ医」や「受診・相談センター」に電話で受診予約をしてください。

受診方法【 受診の前に必ず電話を 】



YAMATOYA COFFEE 32 オープン



双子都市 前橋・高崎の150年



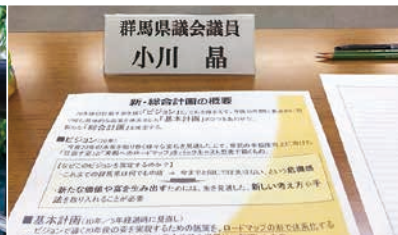
とりにったきょうりゅう展



全日本シニアマスターズ体操大会



広瀬川ナイトテラス



前橋地域懇談会



前橋スカイランタン



未来に繋ぐタイムカプセル埋設

決算特別委員会

10月12日から10月29日までの間、決算特別委員会を設置し、令和元年度の決算審査を行いました。決算は過去に実施した事業や予算の執行状況を見直し、来年度の予算編成に反映させる議会の重要な役割です。税金が適切に使用されたかどうか、効果はどうだったのか。限られた予算の中で最大限の効果を上げられるように、しっかりとチェックする必要があります。

- 歳入総額 7564億円
- 歳出総額 7482億円
- 県債残高 1兆2727億円（前年度比+292億円）
- 積立基金残高 139億円（前年度比+2億円）

年々増加しています！
（グラフ参照）

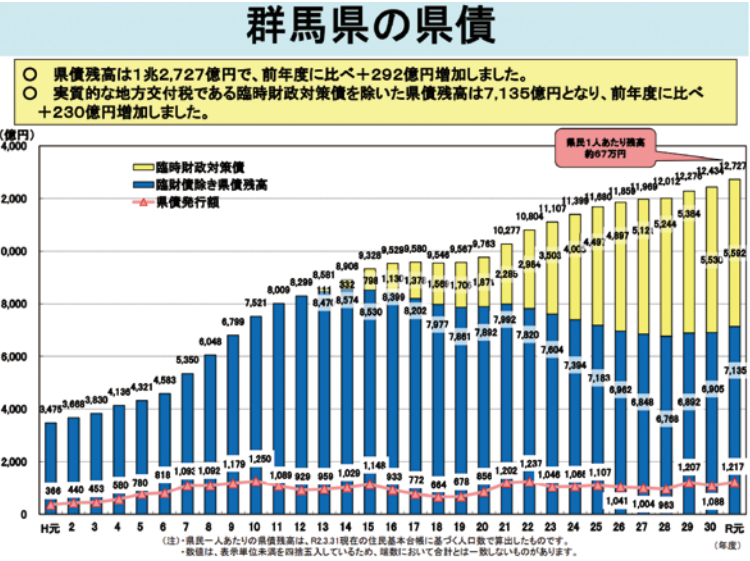
決算特別委員会の現地調査

決算審査に先立ち、令和元年度に施設整備を進めた桐生清桜高等学校と桐生高等学校、前橋駅前交番の現地調査に伺いました。

桐生清桜高等学校 は、桐生・みどり地区県立高等学校再編整備計画に基づき、桐生南高校と桐生西高校を統合し、大学進学をはじめ多様な進路を実現できる新高等学校として令和3年4月に開校する新高校です。2つの学校の特色を残しながら進学にも就職にも強い多様な進路を実現できる高校を目指し、令和3年4月開校に向け施設の整備が進められています。



桐生高等学校 も令和3年4月から桐生高校と桐生女子高校の統合による新高校として再スタートします。こちらは男子校と女子校が一緒になることから、女子トイレや更衣室の増設など必要な機能の追加や新しい図書室や学習スペースの整備などが進められています。人口減少により高校に限らず学校の統廃合は今後も増えていく予想ですが、高校の再編整備には、生徒たちのフォローに加え、地域住民や同窓会に対するフォローや特色ある教育内容の実施、新たな学校を作り上げていく課程、廃校になった施設の活用など、様々な課題が生じます。



清桜高校、桐生高校の統合の取り組みが将来の各地域の学校再編のモデルケースとなるように、良いスタートを切っていただきたいですね。



前橋駅前交番 は、前橋駅北口の再開発事業の実施に伴い、前橋市からの移転要請を受けて新築移転したものの。本来であれば昨年度中に完成するはずでしたが、東京オリンピックや台風被害の影響で部材の調達が遅れ、令和2年5月29日に完成となりました。交番内はバリアフリーになっており、車椅子対応の多目的トイレを設置しているほか、女性用仮眠室、シャワー、トイレをそれぞれ整備しています。すぐ隣に大きなマンションが建つ予定で、それができたら交番周辺の雰囲気も変わるかもしれませんが、地域に根差した交番として県民の安全安心を守っていただきたいです。



決算の総括質疑に登壇

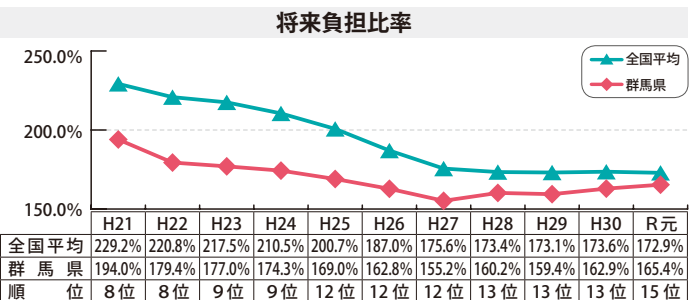
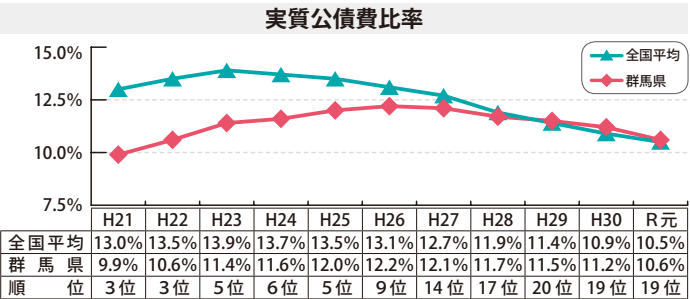
会派を代表して、決算の総括質疑をしました。新型コロナウイルスや豚熱(CSF)対策など緊急に財政出動が必要となるケースが増えています。緊急時に備えてどのくらいの基金を確保していくのか、来年度予算編成に向けて、執行部の認識を質しました。



1. 県の財政状況について

小川:10年前は実質公債費比率や将来負担比率が全国的にも上位に位置していましたが、近年は全国順位が下がっています。将来負担比率については、昨年よりも2.5ポイントの悪化となっています。他県も努力をして財政の健全化に取り組んでいる中で、群馬県の財政状況についてどのように認識しているか伺います。

総務部長:どちらの指標も、早期健全化基準は下回っているものの、全国順位の低下などが懸念されることから、今後も各財政指標の推移に留意し、持続可能な財政運営に努めていきたいと考えています。

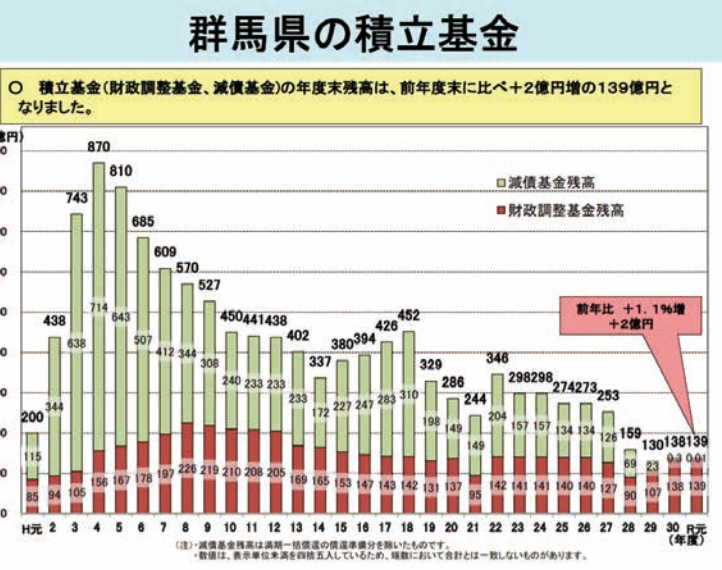


※実質公債費比率：県の借入金の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの
※将来負担比率：県の負債の大きさを、財政規模に対する割合で表したものの数値が低いほど財政が健全であることを示しています。

小川:令和2年度は当初予算で52億円の基金を確保していたが、新型コロナウイルス対策を迅速に行うことができたことは評価しています。税収の見込みが厳しい中でも、様々なリス

クに備えるために積立基金を確保することが重要ですが、来年度予算に向けてどのように考えていますか。

総務部長:今年度決算についてみると、前年同期よりも積立基金を確保している状況ですが、近県と比較した場合には本県の基金残高は十分とは言えません。令和3年度当初予算に向けては、デジタルトランスフォーメーションの推進などにより事業のやり方自体を見直し予算を捻出することで、長期化するコロナ対策や自然災害に備えて一定の基金残高を確保していきたいと考えています。



2. 外国人の医療について

小川:外国人未払い医療費対策事業について令和元年度の当初予算額は432万円でしたが、令和元年度の実績はどのようになっているのでしょうか。また、令和2年度で事業が廃止となっていますが、その理由について伺います。

健康福祉部長:令和元年度は、15の医療機関に対し48人分の未払い医療費、合計595万1000円の補填が行われました。事業廃止の理由については、法律の改正により多くの外国人が国民健康保険に加入できるようになったこと、医療通訳ボランティアや民間保険制度の創設により、制度を取り巻く環境が創設時とは大きく変わったことから、本事業は役割を終えたものと考えています。なお、外国人の医療については、本来は国において対応すべき問題であると考えます。

小川:それでも未だにこの制度が利用されているのは、難民や仮放免の方、何らかの事情で働けない外国人がいるという事実には他ならないと考えます。本来であれば国が解決を図るべきものですが、それが整っていないから群馬県として平成5年からこの補填制度を先駆的に始めたという経緯もあります。未払いについて医療機関が全て負担するとなると病院経営への影響も大きいし、医療機関からも制度を継続してほしいという意見がでています。外国人との共生を目指す群馬県として、外国人の医療に関する課題や支援についてしっかりと検討してもらうよう要望します。

3. 児童福祉について

小川: 東部児童相談所の整備による一時保護所の定員超過解消の効果はどのようになっているのでしょうか。また令和4年までに児童福祉司を72人配置する必要がありますが、現状と今後の採用予定について伺います。

生活こども部長: 一時保護所については、中央児童相談所（定員36人）における定員超過が慢性化していましたが、令和2年4月から東部児童相談所に定員30人の一時保護所を整備したことによって、定員超過の状況は大幅に改善されています。児童福祉司については、昨年度までに52人を配置し、今年度末には59人の配置となる予定です。令和4年までにあと13人を確保する予定です。

【 9月末時点の定員超過の状況 】
(令和元年) 中央児童相談所142日
➡ (令和2年) 中央児童相談所34日 / 東部児童相談所2日

【 9月末時点の1日当たりの平均児童数 】
(令和元年) 中央児童相談所45.7人
➡ (令和2年) 中央児童相談所33人 / 東部児童相談所14.4人



4. 公共交通について

小川: 鉄道利用促進アクションプログラム実施状況はどのようになっているのでしょうか。

県土整備部長: 令和元年度には上越線、信越本線、上信線、わたらせ渓谷鐵道について沿線住民の利用を呼び掛ける行動喚起編を策定しました。平成30年度に策定した吾妻線、東武桐生線、上毛線については、駅周辺を調査し、駅前広場やパークアンドライドを整備するための測量などを実施したものの、改めてニーズ調査などを行い、整備の必要性を見直す予定です。

小川: 行動喚起や啓発は今までもやってきたが、なかなか利用者が増えないので、さらに一歩踏み込んでパークアンドライド等を整備するのがアクションプログラムだったはず。鉄道事業者や沿線市町村も期待をしていたアクションプログラムが、ハード整備を伴わない行動喚起になってしまったのは残念です。



決算総括質疑の様子は県議会 HP にも掲載されています。是非ご覧ください。



文教警察常任委員会・県内調査

文教警察常任委員会で県立文書館、県立図書館、総合交通センターの現地調査を行いました。

県立文書館は、歴史文書の収集・整理・保存・活用のために昭和57年に設置された施設で収蔵文書は約80万冊、そのうち1万7000冊が国指定重要文化財となっており、特に明治期の詳細な絵図が多数保存されているのが群馬県の特徴です。



令和元年度の閲覧者は1629人、展示や講座等の参加者は6254人となっています。施設運営上の課題としては、

- ①老朽化、②専門職員の確保、③未公開収蔵資料の公開促進、④知名度の向上、⑤公文書管理条例への対応があるとのこと。

①老朽化については空調設備の更新工事を行ったり、小規模修繕を行うなどの対応を行っていますが、収蔵率については現在70%であり早ければ後10年で満杯になってしまうので今後は収蔵スペースの確保も課題になってきます。

②古文書のくずし字を解読できる専門職員については、人事異動や会計年度任用職員の採用で対応しているとのこと。

③については、現在の公開率は約50%であり残りは約40万冊。目録の作成や燻蒸(殺菌・殺虫作業)の手間がかかるうえに、1ページずつ中身を確認しながら個人情報の審査や痛みの補修などを行う必要があるため、年間で処理できるのは1万冊程度ということなので、公開率を上げるにもかなり時間がかかりそうです。

④知名度の向上については、県立図書館や歴史博物館とタイアップした展示や古文書講座の開催に加え、近年ではホームページの充実やSNSによる情報発信にも力を入れており、ホームページの閲覧数も年々増加しているとのこと。

コロナ禍の緊急事態宣言による休館中にも、インターネット展示を開催。絵図のデジタル化や文書目録検索システムの充実にも取り組んでおり、県民共有の歴史資料を有効に活用する工夫が見られます。

⑤今後は、これまでの業務に加え、公文書管理条例(令和2年3月制定、令和3年4月施行)の対応業務も追加されます。具体的には、①保存期間が満了した公文書の廃棄については文書館の意見が必要となり、②歴史公文書については文書館に移管し、1年以内に目録を作成・公表、③利用請求を受けた際の審査を行うこととなります。

現在はコロナ対策として、閲覧室の利用・展示観覧は予約制とな



っていますが、自分の住んでいる地域の明治期の地図や貴重な古文書が閲覧できるので、お時間のある時に、是非お立ち寄りください。

[<https://www.archives.pref.gunma.jp>]

群馬県立歴史博物館の企画展もチェック!!

第102回企画展
『空からグンマを見てみようー国絵図・城絵図・町村絵図ー』
10月17日(土)～12月6日(日)

続いて、県立図書館の現地調査。誰もが一度は訪れたことがある(?)県立図書館は、昭和53年に設置された施設で、約85万冊の



図書、4000種類の雑誌、5万枚のCDを所蔵しており、年間の利用者は24万人、来館者に34万冊を貸し出しているほか、他の図書館・公民館に15000冊を貸し出しています。

運営上の課題としては、①老朽化、②書庫や駐車場の不足、③業務基盤の整備、④デジタルシフト対応などがあげられるとのこと。

①開館から40年が経ち、各所での雨漏りやトイレの洋式化の遅れ、フロアの強度不安など、逐一对応しているものの抜本的な対策が必要かもしれません。

②設備の不足についても、現在の収蔵率は120%ということで、廊下などにも本棚を置いて対応しており、書物の寄贈もストップしているとのこと。県立図書館が目指すべき資料点数として100万冊～120万冊を掲げているにもかかわらず書庫のキャパシティは82万冊しかないそうです。

③④についても、ICタグの未整備、貸出機・自動資料搬送機の未導入など効率的に業務を行うための基盤が不足しており、書籍のデジタル化への対応や情報弱者救済のための仕組みづくりにも取り組みたいところ。

老朽化や設備の不足が目立つものの、中でもよりよいサービスを提供しようと尽力している職員さんたちの努力は素晴らしいと思います。コロナ禍においても、図書館を必要としている県民のために、県有施設の中では一番最後まで休館にせず、また一番早く再開しており、三密対策や消毒タイムの実施、利用者への意識啓発などに積極的に取り組んでいます。

県内には、県立図書館以外にも55か所の図書館が整備されて



おり(そのうち前橋市には、市立図書館やこども図書館、15か所の市民サービスセンターに設置されている分館があります)、県立図書館に求め

られている役割や他の図書館との連携など、今後の展開を考えていく必要がありそうです。

[<https://www.library.pref.gunma.jp>]



最後に、総合交通センターで運転免許関係の業務を調査。群馬県の免許保有率(現在72.3%)は52年連続して全国1位ということで、県民1.4人に1人が免許を

持っている計算になります。

10年前と比べると高齢運転者の割合が9.3ポイント増え27.7%に高まっており、また外国人の運転免許受検者はこの3年間で3割増。昨年12月からは英語、ポルトガル語に加えベトナム語での学科試験も導入しているそうです。年間の利用者は20万5000人で1日平均700人が利用しています。

総合センターもコロナの関係で4月24日から業務を停止していましたが、5月18日から段階的に業務を再開。ビニールスクリーンの設置やフェイスシールドを付けての技能試験の実施、床面への立ち位置シールの貼付、こまめな換気・消毒、整理券の配布など、利用者が多い施設だからこそ徹底的なコロナ対策を実施しています(予算の関係で全て職員さんの手作りで対策が取られていました)

また、今年から始まった高齢者の免許更新管理システムの運用状況についても伺いました。

今まで認知機能検査と高齢者講習の予約を自分で取らなければいけなかったため、高齢者にとっては予約を取る作業が負担になり、教習所等においても予約の電話が殺到し業務を圧迫していましたが、新システムの導入により、あらかじめ認知機能検査や高齢者講習の日時・場所が記載されたハガキが届くようになりました。

同じ情報が教習所にも共有されるので、受付名簿や受験申請書を記入する手間も省けます。

ハガキに記載されている日時の都合が悪い場合には、電話で日時の変更も可能です。

システムの導入により、認知機能検査等の待ち時間を平均140日から52日に減らすことができたとのこと。

ちなみに、令和元年の高齢者講習等の実施状況は、認知機能検査49815件(うち第1分類1577件、第2分類13201件、第3分類35037件)、高齢者講習70411件(うち75歳以上44330件)となっています。

運転が心配な方は、安全運転サポートカーへの乗り換えや免許の返納など、ご家族と話し合ってみてください。安全運転相談ダイヤル(#8080)でも相談を受けています。

大変なときこそ、女性の力を結集！

2020年6月27日

『ぐんま女性議員政策会議』の総会及び研修会に参加しました。党派を超えて県内各自治体の女性議員で構成する組織は、全国的にも珍しいと言われています。コロナで大変なときだからこそ、それぞれの議会や活動についての情報交換が大切です。

マスク着用、検温・消毒、ソーシャルディスタンスに配慮しながら、研修会では、

●群馬県の経済対策と今後(ニューノーマルの社会経済をめざして)

●新型コロナ対策を踏まえた教育活動の充実に向けての2つのテーマについて勉強させていただきました。質疑の時間が全然たりないくらいバンバン質問が出るのと、カラフルなマスクで with コロナと上手に付き合えるのも女性ならではの♪

コロナ対策を通じて改めて地方政治の重要性を感じます。引き続き、頑張ります!!



2020年8月6日／8月13日

WOMANSHIFTのオンライン全国勉強会に参加しました。6日の研修では、LINE 株式会社の方から、議員の個人活動向けと自治体の情報発信向けのLINEの活用方法を詳しく教えていただきました。群馬県でも公式LINEアカウントを利用しているけど、それ以外にもTwitterやFacebook、Instagramなど、それぞれの部所やプロジェクトごとに情報発信ツールがありすぎて、もう少し整理できないかな、と感じていたところ。それぞれのツールの特徴をおさながら、必要な情報が必要な人のところにしっかり届く仕組みを考えていきたいですね。私も個人用の公式アカウントに挑戦してみようかな♪

また、後半はハラスメントの事例や具体的な対応について。女性ならではの体験談や、年齢や期数による違いなどを共有し、どうやって対処したらいいかを話し合えるのがWOMANSHIFTのいいところ。

13日は東京都武蔵野市の松下市長と、新潟県加茂市の藤田市長から日々の思いや、首長から見た議員の姿など、貴重なお話を伺うことができました。後半のグループワークでは、『良い議員とは?』『政策実現できる議員になるための方法』『行政との付き合い方』などをテーマに、北海道から九州まで、全国各地の女性議員が集まって、それぞれの議会の違いや実践例などを聞くことができました。大変なときこそ、知恵を出し合う、女性の力は偉大です♪



会派視察

会派の視察でみなかみ町のテレワークセンター MINAKAMIにお邪魔しました。

こちらは新たなビジネスの創出と働き方改革の推進拠点として、廃園となった旧月夜野幼稚園を、テレワークセンターとして活用している場所。

『遊びの中で働こう!』というコンセプトのホームページもとっても素敵です!

コロナ禍でリモートワークやワーケーションという言葉が身近になってきましたが、個人でも会社でも低価格で利用できるのはなかなか魅力的。教室や遊戯室の趣を残したま



まサテライトオフィスやワーキングスペースとして活用していて、一般的な会社とは違った雰囲気もユニークですね。また、ハード的な場所貸しだけではなく、ローカルチャレンジサポート事業というソフト事業の拠点にもなっていて、地域での起業や移住にチャレンジする方のお手伝いも提供しているそうです。



東京駅から新幹線で66分。利根川源流域や豊かな山岳自然環境を活かした、たくさんの“遊び”や“働き方”があるみなかみ町。選ばれる地方を目指していきたいですね!



「愛郷ぐんまプロジェクト 泊まって!応援キャンペーン」の効果はどうだった?

緊急事態宣言の発令により、4月～5月の観光目的が50%以上の宿泊施設における宿泊者数は、前年同期比8.7%に落ち込んでいました(観光庁・宿泊旅行統計)。そこで、緊急対策として6月～7月にかけて、県民が利用する県内のホテルや旅館などの宿泊料について、1人当たり1泊5千円を割引く事業を実施。延べ32万7000人の利用があり、国の「GoToトラベル」の追い風もあって、6～7月の宿泊者数は前年同期比53.8%まで盛り返しました。全国平均の27.6%

に対して群馬県の実績は全国1位となっています。この効果を一過性のものとしないうちに、これからの取



り組みが重要です。ニューノーマルな観光の在り方が求められています。

インターネット上の誹謗中傷相談窓口を開設しました!

県議会の豆知識

SNS等のインターネット上の誹謗中傷やプライバシー侵害等で悩んでいる方はお気軽にご相談ください。相談は無料です。

相談時間 月曜日～金曜日(土日、祝日を除く) 9時～17時

メール相談 24時間対応
メールアドレス netsoudan@pref.gunma.lg.jp

※メール本文には、「氏名」「年齢」「お住まいの市町村」「電話番号」「相談内容」をご記入ください。該当する画面をスクリーンショットなどで保存し、添付していただくと相談がスムーズに進みます。

電話相談 9時～16時 電話番号 027-897-2953

- 法律相談: 毎週金曜日13時～16時(予約制 40分程度) 1案件につき、1人1回まで無料
- 臨床心理士への相談: 受付は随時 1人3回まで無料(予約制)



←相談窓口アドレス

活動報告

主な地元活動・参加行事
(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- | | |
|---|---|
| 7月 21日 前橋青年会議所7月例会 | 常任委員会 |
| 7月 25日 ~26日 宇宙少年団前橋分団キャンプ (遠隔コミュニケーション) | 10月 3日 前橋青年会議所「未来に繋ぐタイムカプセル」埋設式 |
| 7月 27日 女性議員政策会議研修会、連合青年委員会懇談会 | 10月 4日 日本青年会議所関東地区群馬ブロック大会 |
| 7月 28日 前橋中央倫理法人会夜間セミナー | 10月 5日 文教警察常任委員会 |
| 7月 29日 みなかみ町テレワークセンター現地調査 | 10月 8日 総合計画に関する特別委員会 |
| 7月 30日 恵風会理事会、前橋東ロータリー夜間例会 | 10月 12日 本会議、CSF 対策本部 |
| 8月 6日 WOMANSHIFT 研修会 | 10月 13日 女性議員政策会議役員会 |
| 8月 8日 森田実氏後援会 | 10月 15日 決算分科会現地調査 |
| 8月 13日 WOMANSHIFT 研修会 | 10月 16日 決算分科会審査 |
| 8月 16日 前橋青年会議所70周年記念事業 (テレビde前橋花火) | 10月 17日 ぐんまの家庭教育応援フォーラム |
| 8月 19日 前橋青年会議所8月例会 | 10月 18日 ぐんま昆虫の森、住育と種苗法改正の勉強会 |
| 8月 22日 広瀬川ナイトテラスボランティア | 10月 19日 日弁連 WEB 懇談会 |
| 8月 23日 宇宙少年団前橋分団例会 (プログラミングで遠隔操作) | 10月 20日 北部女性会パーベキュー |
| 8月 24日 前橋地域懇談会 | 10月 21日 議員団会議 |
| 8月 26日 月一常任委員会 (県内調査) | 10月 24日 前橋青年会議所10月例会 (70周年記念セミナー・特番) |
| 8月 27日 前橋東ロータリー例会 (児童文化センター音のステージ修理) | 10月 26日 決算総括質疑 |
| 8月 29日 広瀬川ナイトテラスボランティア | 10月 28日 議会運営委員会、一般質問 |
| 9月 4日 倫理法人会辞令交付式 | 10月 29日 本会議、キャリチャレ前橋 |
| 9月 10日 前橋中央倫理法人会モーニングセミナー | 11月 4日 ネット誹謗中傷被害者支援条例に関するヒアリング |
| 9月 11日 議会運営委員会、議員団会議 | 11月 6日 総合計画に関する特別委員会 |
| 9月 17日 前橋青年会議所9月例会 | 11月 7日 政策研究フォーラム |
| 9月 18日 県議会第3回定例会開会 | 11月 8日 前橋田町文化祭 |
| 9月 18日 本会議、前橋東ロータリー合同夜間例会 | 11月 9日 女性議員政策会議視察研修・知事要望 |
| 9月 21日 ~22日 全日本シニアマスターズ体操大会ボランティア | 11月 10日 総合計画に関する知事要望 |
| 9月 25日 一般質問 | 11月 11日 総合計画に関する知事要望 |
| 9月 26日 日本青年会議所 WEB 全国大会 | 11月 13日 南部女性会懇談会 |
| 9月 28日 一般質問 | 11月 14日 児童文化センター宇宙ワークショップ、日本青年会議所関東地区群馬ブロック全体会議 |
| 9月 30日 一般質問 | 11月 16日 ~17日 柏崎原発視察 |
| 10月 1日 本会議 | 11月 17日 前橋青年会議所11月例会 |
| 10月 2日 議員団会議、文教警察 | 11月 18日 議会運営委員会、議員団会議 |
| | 11月 19日 ガチ高校生×群馬県議会 (市立太田高校) |



Facebook & BLOG

akira-o.jp/blog/

GO!

フェイスブック
& ブログ
やってます!
ぜひ一度覗いて
みてください



家庭教育応援フォーラム

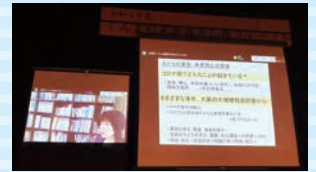
投稿日: 2020年10月17日

ぐんまの家庭教育応援フォーラムに参加しました。今年は山野則子さんの講演会です。山野さんは大阪からオンラインで出演し、参加者も会場とwebの両方から参加できるハイブリットな仕組みに。コロナ禍においても工夫をしながら貴重な学びの場を提供していただき、有り難いです。

山野さんからは国会でも話題になったスクリーニングの必要性や、全数把握した後にスクールソーシャルワーカー (SSW) などの専門家や地域資源を活用してつながりを作っていくことの大切さを、実際の事例を通じてご講義いただきました。担任の先生が一人で抱える、SSW が一人に対応する形ではなく、全ての児童生徒の状況を学校と地域が一つになって共有し対応していくことで、SOSを見逃さない、孤立を生まない強い地域が作れるはず! 子どもの貧困や虐待やいじめなど、それぞれの視点からの対策はこれまでも実施していますが、今後は配置した事業を機能させる仕組みが重要になってきます。

今日の講義資料に近いレジュメがあったので、載せておきます。学校・家庭・地域の教育力を機能させる仕組み作り~学校プラットフォームの実現に向けて~ (官邸HPより)

資料はこちらより



昆虫の森へ

投稿日: 2020年10月18日

文教警察常任委員会所管のぐんま昆虫の森、久しぶりに覗いてみました! 今年で15周年を迎えるぐんま昆虫の森は、45haという広大な敷地で昆虫の生態圏を観察できる素晴らしい施設。これだけの規模は世界でも類がないそうです。昆虫観察館と温室のイメージが強いけど、個人的には、トンボ池やバッタの原っぱがある【富士山沼ゾーン】、かやぶき民家の【桑畑ゾーン】、【雑木林ゾーン】(カブトムシやクワガタを探すならここ)といった野外施設の価値が高いと感じています。(NHKの『香川照之の昆虫すていぜ!』のロケ地としても度々登場しています。)

コロナの関係で、今年は来場者やイベントの制限などの対策をとっていますが、今後は教育研究機関としての発信にも力を入れてもらいたいですね!

ぐんま昆虫の森のイベントや講座情報、昆虫の様子はこちらから。Twitterフォローをお願いします。
<https://mobile.twitter.com/konchuu05>



サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!



Akira OGAWA

1982年・農家の長女として誕生。中央大学在学中に司法試験合格。前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会議員 (初当選)。現在3期目・リベラル群馬。

お神輿 (お祭り) 好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか!?



小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

TEL.027-255-7700 FAX.027-255-7788

URL.<http://akira-o.jp> Email info@akira-o.jp

